

大村照夫 教授 略歴・業績目録

大村照夫 教授 略歴

1945年1月22日

広島県呉市出身

学歴

1963年3月 広島県立呉宮原高等学校卒業
1967年3月 同志社大学経済学部卒業
1970年3月 同志社大学大学院経済学研究科修士課程修了
1973年3月 同志社大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学
1999年1月 博士（経済学 同志社大学）取得

職歴

1971年4月 名古屋学院大学経済学部助手
1974年4月 名古屋学院大学経済学部講師
1977年4月 名古屋学院大学経済学部助教授
1987年4月 名古屋学院大学経済学部教授
2015年3月 名古屋学院大学経済学部定年退職

学会及び社会における活動等

経済学史学会会員
社会経済史学会会員
マルサス学会会員
市場史研究会会員

主要業績目録

著書

『マルサス研究』単著 ミネルヴァ書房 1985.
『ウィリアム・ペイリー研究』単著 晃洋書房 1994.
『ウィリアム・ペイリーの政治哲学』単著 晃洋書房 1996.
『新マルサス研究』単著 晃洋書房 1998.
『アブラハム・タッカー研究序説』単著 晃洋書房 2003.

学術論文

- 「ウィリアム・ペリーの義務論—マルサスの先行者として—永井義雄・柳田芳伸・中澤信彦編」共著『マルサス理論の歴史的形成』第5章 昭和堂 2003.
- 「アブラハム・タッカーの道德哲学—神学的功利主義思想について—」単著『名古屋学院大学研究年報』16号 2003.
- 「アブラハム・タッカーの道德哲学—『自然の光明』第2版（1805年）第7巻第29章 快楽に対する愛好について—」単著『名古屋学院大学研究年報』17号 2004.
- 「アブラハム・タッカーの道德哲学—『自然の光明』（1805年）第7巻34章 満足について—」単著『名古屋学院大学研究年報』18号 2005.
- 「アブラハム・タッカーの道德哲学—理性・必要性・転位について—」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』Vol. 43 No. 3 2007.
- 「アブラハム・タッカーの道德哲学—自由意志について（1）—」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』Vol. 44 No. 3 2008.
- 「アブラハム・タッカーの道德哲学—自由意志について（2）—」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』Vol. 45 No. 3 2009.
- 「新・道德哲学 —スミスから現代へ—」単著『名古屋学院大学論集（人文・自然科学篇）』Vol. 50 No. 2 2014.